

**第8期「まえばしスマイルプラン」《老人福祉計画・第8期介護保険事業計画》
の素案に関するパブリックコメント(意見募集)の実施結果**

前橋市 長寿包括ケア課 027(898)6134

◆意見募集期間 令和2年12月15日(火)～令和3年1月14日(木)

◆意見の提出者及び意見数

- ・意見提出者… 3名
- ・意見の件数…13件
- ・意見の内訳
 - ①計画策定に関すること 3件
 - ②各事業に関すること 10件

◆意見及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。取りまとめの都合上、いただいた意見を一部要約しています。今回いただいたご意見を参考に、第8期まえばしスマイルプラン《老人福祉計画・第8期介護保険事業計画》を策定します。なお、計画に直接反映しないご提言・ご意見等については、今後の施策の参考にしてまいります。

大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

①計画策定に関すること 3件

	パブリックコメントによる意見等	意見に対する市の考え方
1	第7期計画で設定した3つの課題への取組に対する評価が第8期計画の目標にどうつながっているのかがわかりにくい。	本編において、第7期計画の評価を受けての第8期計画の方向性を記載します。
2	幅広の目標設定になっているのだと思うが、限られた資源(財源)をどこに集中投下するのか、重点項目を絞っても良いのではないか。	6つの目標に基づき施策を展開するにあたって、重点項目の記載はありませんが、各目標を実現するための施策を実施する際には、より効果的・効率的に実施できるよう財源の配分や実施方法について工夫してまいりたいと考えています。
3	5つの地域ブロックのそれぞれの課題、重点取組項目等はないのか。	本編において、地域ブロックごとに人口や認定者、サービス利用状況等について現状分析を行い、方向性を記載します。

②各事業に関すること 10件

	パブリックコメントによる意見等	意見に対する市の考え方
1	<p>地縁ではない非接触型の見守り・安否確認サービスとして、「電話訪問」の拡充を望む。全国でも先進的な事例であり、コロナ禍における重要な施策である。</p>	<p>高齢者の見守りサービスに対するニーズは多様化しており、対人での見守りは苦手という方については電話で安否確認を行う等、ご本人に適した見守り方法を選択していただくためにも、電話訪問を継続していきます。</p>
2	<p>運転免許証の返納により、買物、病院等に行く手段がない。タクシーチケット等は使い勝手が悪く不便であり、近くのスーパーやホームセンターなどに働きかけ、決まった曜日や時間に、マイクロバスなどで送迎してもらえば生活しやすくなる。生活用品や食品の移動販売車も安心できる業者が来てくれるなら、人に気兼ねすることなく生活を楽しむことができる。</p>	<p>生活支援体制整備事業において、各地区・各町の課題解決に向け取り組んでおります。買い物、通院といった高齢者の移動支援についても、住民が主体となって解決できるよう活動を支援するとともに、交通担当部門と連携を図っていきます。</p>
3	<p>年をとっても生き生きと生活して活動できる仲間(組織)作り、多様なサービスの仕組み作り、支援組織作りをすることにより、高齢者が楽しく日々を過ごせるのなら認知症になる心配も少なく、元気でいられる。</p>	<p>市社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携し、高齢者の健康の維持・増進及び互いに支え合う地域の構築を目指し、引き続き、生活支援体制整備事業に取り組んでいきます。</p> <p>また、閉じこもり予防・認知症予防等を含め、生き生きと自分らしく安心して生活していただけることを目的に、高齢者の居場所や仲間づくりができるはつらつカフェや認知症を語るカフェなどの利用も推進していきます。</p>
4	<p>ボランティアもいいが、仕事(有償)であれば、どちらの側にも気を遣うことはない。</p>	<p>有償・無償を問わず、多様な主体による多様な支え合い活動が広がるよう、引き続き、生活支援体制整備事業に取り組んでいきます。</p> <p>また、介護予防活動ポイント事業では、個人の介護予防活動やボランティア活動に対し、1ポイント100円の報酬を付けています。今後はポイント付与の対象を、健康づくりや社会参加などに広げ、ポイント制度の周知と活用を推進していきます。</p>

	パブリックコメントによる意見等	意見に対する市の考え方
5	<p>成年後見制度の利用促進については、認知症高齢者の増加、また本人の意思決定支援や権利擁護の観点からも中核機関の設置は急務である。地域包括支援センターやケアマネジャーなどの相談の入口から専門機関や司法関係の専門職へのつながりの構築が、体制強化につながると考える。制度の普及啓発についても併せて注力いただきたい。</p>	<p>成年後見制度の体制強化には、関係機関・団体との情報共有や協力体制の構築、制度の普及啓発が重要と考えております。関係機関等と連携しながら、制度の利用が必要な人の把握や、適切かつ迅速な制度の利用の促進に努めていきます。</p>
6	<p>介護予防については、老人福祉センターの拠点機能強化が望まれる。サロンや体操クラブでの介護予防の普及啓発のさらなる充実にも期待する。</p>	<p>老人福祉センターやサロンなどについて、引き続き市社会福祉協議会と協働し、地域の介護予防の拠点として機能強化を図ります。また、はつらつカフェや多様な主体による通いの場づくりを進め、高齢者が社会参加しやすい環境整備に努めていきます。さらに、サロンや体操クラブ等で、フレイルや認知症予防教室を開催し、介護予防の普及啓発に努めていきます。</p>
7	<p>・行けば施設を無料で楽しめたり、仲間と話ができたり、機能訓練などできる老人センターだが、送迎があるところは少なく、決まったところだけになっている。例えば、人数がまとまれば送迎してくれるようなサービスがあるといいと思う。</p> <p>・送迎方法については小型車両を活用したドアツードアの方法などを柔軟に検討いただきたい。</p>	<p>老人福祉センターの運営においては、利用者が安全で通いやすい方法の確保が必要と考えております。送迎バスの運行方法の見直し等、利用者の利便性と安全性の向上を図っていきます。</p>
8	<p>地域の人が交流できる“カフェ”も欲しい。</p>	<p>カフェの開設には、場所と担い手が必要です。開設に向けた補助金制度や立ち上げ支援事業を周知し、地域の人が気軽に立ち寄れる交流の場の設置を計画的に進めていきます。</p>

	パブリックコメントによる意見等	意見に対する市の考え方
9	<p>「いきがい活動・社会参加の促進」の項目でも特に重点を置くのは何か。たとえば老人クラブ活動の推進に力点を置いてやるとかメリハリある対応も必要なのではないか。</p>	<p>「いきがい活動・社会参加の促進」の項目において重点施策は設けていませんが、各施策を単独で行うのではなく、相乗効果が得られるよう工夫して進めていきます。例として、「有償ポイント」やはつらつカフェ等の「人が集う居場所づくり」については、人や場所等の資源の掘り起こしや、施策の周知の場面において、老人クラブ等の既存組織との連携は重要であると考えております。</p>
10	<p>「制度の普及啓発」では、市民との間の相互のやり取りを含め、ウェブの活用をはかられたい。</p>	<p>認定申請、保険証再発行等の手続きが、マイナンバーカードを活用してオンラインで行える介護ワンストップサービス(ぴったりサービス)の利用を可能にする等、来庁しなくてもウェブで完結できる環境・体制の整備を進め、被保険者の利便性向上を図っていきます。</p>